



Title	語文 第61輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 1993, 61
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/68863">https://hdl.handle.net/11094/68863</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 編集後記

『語文』第六十一輯をお届けします。本輯には四篇の論文を掲載しました。いずれも、文献・資料を博搜、駆使して構想された、しかも多角的な視座からの研究を揃えることができました。

六十一年とは、干支になぞらえていえば、あらたなるはじまりへ、スタートの号数ということになります。「大阪から一つぐらゐ國文學誌が出てもよからうと話しあつた末…」とは、周知のごとく、本誌第一輯、林和比古先生ご執筆の編集後記の冒頭です。今日の情報量、発行誌の多さからは、まさに、隔世の感のあることばです。

広く深い、そして多様な研究実績をもつ執筆者の専門性に立脚し、「語文」という普遍性ある名称をもつ本誌の、いわば「観知の台座」（井筒俊彦）としての意義を、これからも大事にしたいと考えます。

今後とも、会員の皆様の更なるご投稿を、お願いいたします。

（荒木 浩）

## 語文 第六十一年

平成五(一九九三)年九月二十五日 印刷  
平成五(一九九三)年九月三十日 発行

編集者・ 大阪大学国語国文学会  
発行者

〒550 大阪府豊中市待兼山町一一

大阪大学文学部国語学国文学研究室

代表 信多純一

振替口座 大阪 四一一四六四一  
電話 (〇六)八四四一一五一(代)

印 刷 天理時報社